

はとめき

2016年
第7号

「はとめき」とは筑後の方言で「おもてなし」という意味です。
書：院長 田中 眞紀



2015年12月撮影「新診療棟建設状況」より

当院の理念

地域住民の多様なニーズに応え、安全・安心で心の通う医療を提供する

方針

1. 利用者の尊厳を守り、地域での包括的な医療支援やサービスに努める
2. 地域に密着した公共性の高い医療を目指す
 - ① 地域医療機関との連携を強化する
 - ② 地域に特色のある医療を担う
3. 質の高い医療を提供するために資質の向上に努める



ジェイコー

JCHO 久留米総合病院

独立行政法人地域医療機能推進機構

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、ラグビーワールドカップでの日本チームの活躍、明治時代の産業施設が世界遺産に登録、2年連続でノーベル賞を受賞などのニュースに興奮した1年でした。

当院では、念願の新診療棟建設工事がようやく終わり、11月5日の竣工式・内覧会を経て11月21日・22日に引っ越しを行いました。築50年の病院から新しい診療棟へ移転するこの時期に勤務できたことを大変嬉しく光栄に思っています。旧館の取り壊し工事、健康管理センター棟との連結工事、放射線部門工事、駐車場整備などが継続中で完成まで数か月を要し、グランドオープンは3月末になる予定です。もうしばらくご不便をおかけしますことをお許しください。



院長
田中 真紀

さて、本年の目標は、利用していただく患者さん方に安全で高度な医療の提供をするための努力を惜しまないこと、専門性を発揮すること、自分が患者になったつもりで優しい心遣いを忘れないこと、職員が自分の時間も大事にできるような勤務環境をクリエイティブに改善すること、無駄をなくし健全な経営を行うこと、そしてこれらを達成するためにチーム一丸となって成果をあげることにしました。

本年もあたたかいご支援をいただきますようお願い申し上げます。

2016年1月



新診療棟稼働

竣工式・内覧会

2015年11月5日（木）、新診療棟の竣工式と内覧会を開催しました。

秋晴れのこの日、久留米副市長をはじめ、ご来賓の方々をお招きし、工事関係者、当院関係者出席のもと、竣工式を滞りなく開催させて頂きました。

また近隣住民の方、患者さん、連携病院・OBの先生方等をお招きして内覧会も開催し、真新しい診療棟の一部を見学して頂きました。



新診療棟へ引っ越し

2015年11月21日（土）、今までの病棟から新診療棟へ引っ越しを行いました。職員一同で荷物を詰め、新診療棟へ移送作業を行いました。男性陣はロッカーなど大きな物をかかえ台車に積み移動させ、看護師は患者さんをご案内し、スタッフステーションなど整理し新診療棟へ移動しました。



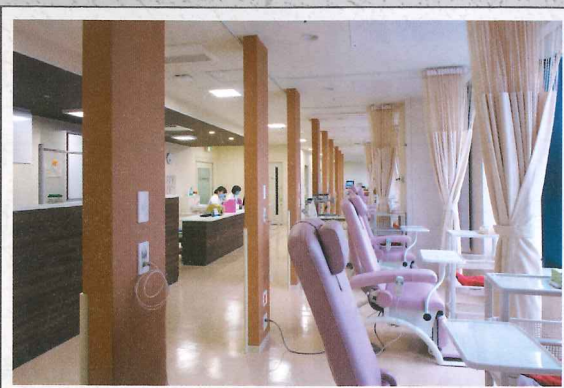
新診療棟稼働

引っ越しも無事に終わり、2015年11月24日（火）より新しい外来、病棟が稼働し始めました。外来は診療科によって1階と2階にわかれ、新しい環境での作業に当初は戸惑いもありました。新診療棟への移転に伴い、スタッフの制服も一新され、職員一同、新たな気持ちで患者さんの為にこれまで以上に頑張っています！





総合受付待合



化学療法センター（2階）



内視鏡センター（2階）



講堂（2階）



病棟



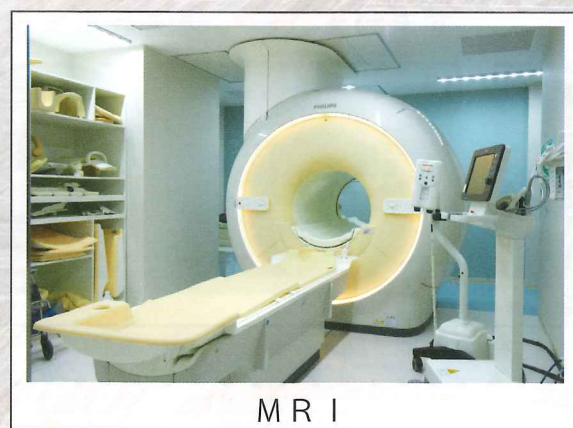
- ←
- 健康管理センター
- G 放射線画像診断センター
- H 臨床検査センター
- 16 処置室
- 17 CT・MRI
- 18 救急診療室
- 19 救急処置室
- 20 診察室
- 介護老人保健施設
リハビリテーションセンター

- 2F
- B 外来診療室
- C 診察室
- D 内視鏡センター
- E 化学療法センター
- H 臨床検査センター
- 25 CAPD室
- 26 CAPD処置室
- 27 栄養相談室
- 講堂

新診療棟の一部を紹介します。 正面玄関から1階外来を望む



CT



MRI



手術室・3D腹腔鏡視下手術システム



HCU（3階）



ダイルーム（病棟）

第4回筑後地区メディカルラリーに参加しました

内分泌代謝内科医長 徳淵市朗

2015年11月29日(日)、「筑後地区メディカルラリー大会」が聖マリア病院で行われました。当院からは私と、4階病棟(当時の3階病棟)から石川済子さんが参加し、久留米消防本部の樋渡伸一朗氏と共に、医師、看護師、救急救命士から成る3名でチームを構成し参加させて頂きました。当チームを含め筑後地区の13の医療機関のチームが参加し、日々の知識や技術を駆使して競い合いました。我が久留米総合病院チームは、総合4位、そして唯一屋外の会場(西鉄試験場前駅の広場)で行われた、メディカルラリーの華である傷病者多数災害部門では輝ける1位を獲得しました。

メディカルラリーとは、実際に起こり得る大事故や集団災害に対処するために、想定された事故に基づいて模擬患者に対し救急活動(現場到着時の対応から各患者に対する迅速な診察、心肺蘇生、薬剤投与など救命に必要な処置)を行い、制限時間内に的確に治療を行うことができるかを競う技能コンテストで、評価者が点数をつけ、チーム毎での順位を競います。欧米では以前より盛んに行われており、近年日本各地でも開催されています。



日常の診療では体験できない病院外での診療や処置、活動等が多く、大会当日だけでなく、大会に向けての日々の練習も合わせて貴重な体験をさせて頂きました。今後も継続して参加していくことで、病院全体の救急医療への意識も高まってくると思います。



最後に、練習や大会当日、指導・協力して頂いた多くの病院スタッフや久留米消防本部スタッフの方々、お付き合い頂き誠にありがとうございました。

人事異動

2016年1月1日付で看護課の人事異動がありました。

- ・副総看護師長 入部直子 ⇒ JCHO 佐賀中部病院 総看護師長に就任
- ・外来看護師長 時里玉栄 ⇒ 副総看護師長に就任
- ・3階病棟副師長 熊川美奈子 ⇒ 3階病棟看護師長に就任
- ・3階病棟看護師 佐々木宏美 ⇒ 3階病棟副看護師長に就任

【新副総看護師長・時里玉栄より就任のご挨拶】

この度、入部直子副総看護師長の後任として、就任しました時里玉栄と申します。1990年に社会保険久留米第一病院に入職し、2006年女性病棟で看護師長という役割をいただきました。2013年3月から2015年12月まで外来看護師長として勤務しておりました。

『温故知新』時代のニーズに応え変革していくことと、歴史ある病院で培った良い風土は次に伝えていくことが私の役割だと考えています。



看護部は女性の多い職場です。育児や介護をしながら働いている職員もいます。私も、看護職の諸先輩をはじめ、医師や多職種の協力、時には患者さんにも声をかけていただき、仕事と育児を両立することが出来ました。働き続けられる環境にいることを誇りに思い感謝しています。また、長期の研修や学会参加など看護師のスキルアップにも手厚くご指導を頂きました。

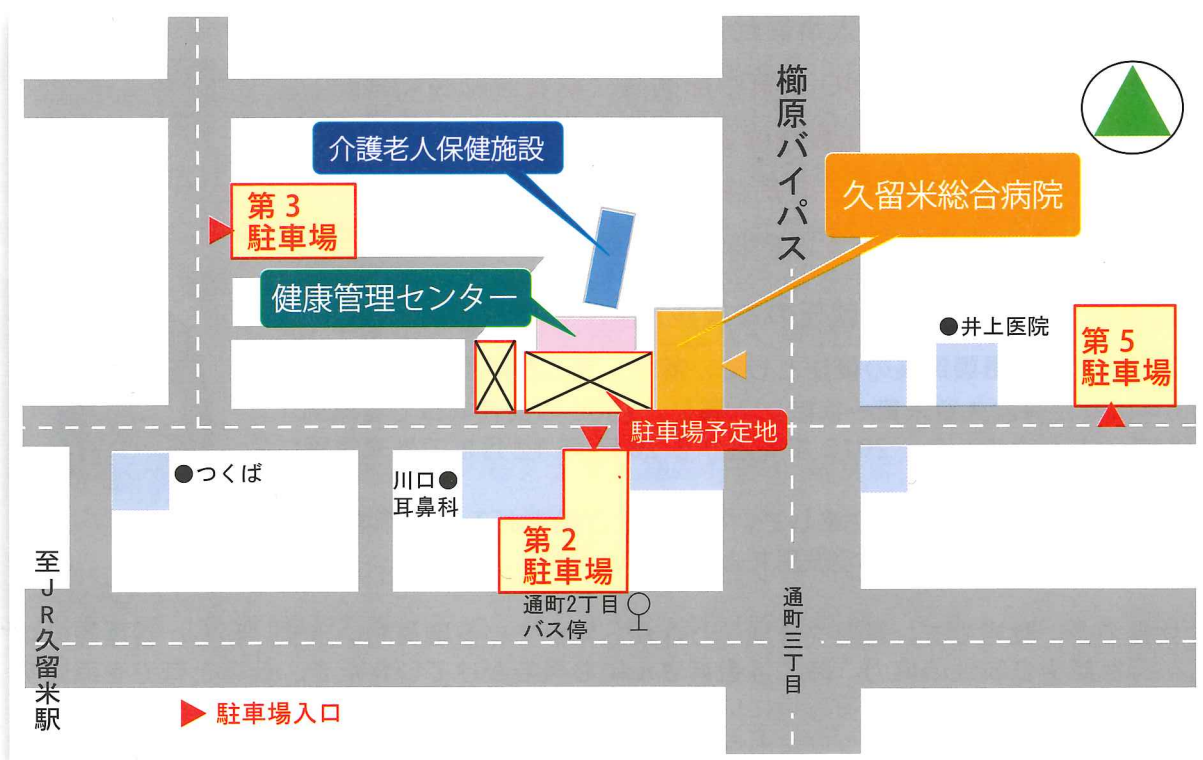
これからも「利用者中心の看護」が提供できるように、看護職員の教育、働きやすい環境づくりを目指し、総看護師長の指導の下、職員の皆さんと協力しながら頑張っていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いたします。

交通のご案内

● MAP ●



● 駐車場案内 ●



ジェイコー

JCHO 久留米総合病院

独立行政法人地域医療機能推進機構

Japan Community Healthcare Organization: JCHO

〒830-0013 福岡県久留米市櫛原町 21 番地

TEL : 0942-33-1211 FAX : 0942-32-0113 URL : <http://kurume.jcho.go.jp/>

2016年2月発行 発行責任者: 院長 田中 真紀 編集: 広報委員会